

## 第2節 医療従事者の確保と資質の向上

### 1 現状と課題

#### (1) 医師

現状	課題
<p>鳥取県の人口10万人当たりの医師数は全国平均を上回っている(全国6位)が、地域別では西部を除いて全国平均に満たない状況。</p> <p>&lt;人口10万人当たりの医師数(平成18年)&gt; 鳥取県：259人、全国平均：206人 (東部196人、中部186人、西部357人)</p> <p>平成16年度に「新医師臨床研修制度」が始まって医学部生が卒業後の研修先を選択できるようになってから、県内唯一の医師養成機関である鳥取大学医学部の医師派遣機能が弱まり、また、県内病院で臨床研修を行う医師が減少。</p>	<p>病院勤務医が不足し、このことが病院に残った勤務医の負担増につながり、それがさらに勤務医の退職・開業を招く悪循環に陥っている。</p> <p>全般的に県内で医師が不足しており、特に内科、産婦人科、小児科などで不足している状態。</p> <p>地域的な医師の偏在も生じており、市部に集中する一方で、郡部の自治体立病院などで医師不足が深刻。</p> <p>卒業後に県内病院に残って研修する若い医師の減少は、医師不足を加速する原因となり、その結果、診療科を縮小する医療機関も発生。</p> <p>県内の臨床研修病院が連携し、研修医が県内に残る魅力ある研修体制の構築が急務。</p>

#### (2) 歯科医師

現状	課題
<p>県内で医療施設に従事している人口10万人当たりの歯科医師数は全国平均以下。</p> <p>&lt;人口10万人当たりの歯科医師数(平成18年)&gt; 鳥取県：58人、全国平均：74人</p> <p>歯科医師の臨床研修が平成18年度から必修化され、県内では鳥取大学医学部附属病院が中心となって研修を実施。</p>	<p>卒後研修医にとって魅力ある県内での臨床研修の実施が必要。</p>

#### (3) 看護職員(看護師・准看護師・助産師)

現状	課題
<p>鳥取県の人口10万人当たりの看護職員就業者数は全国平均以上だが、県内の看護職員の有効求人倍率は高く、確保が困難な状況。</p> <p>&lt;人口10万人当たりの看護職員数(平成18年)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師 鳥取県：812人、全国平均：636人</li> <li>・准看護師 鳥取県：407人、全国平均：299人</li> <li>・助産師 鳥取県：28人、全国平均：20人</li> </ul> <p>&lt;県内の有効求人倍率の状況(平成19年8月)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全職種：0.76倍</li> <li>・看護師(准看護師を含む。)：2.84倍</li> <li>・助産師：5.25倍</li> </ul>	<p>看護職員の確保策、県内就業の促進策の更なる推進が必要。</p> <p>医療機関等における看護職員の離職防止や働きやすい職場環境の整備が必要。</p> <p>医療機関等に從事していない看護有資格者(潜在看護職員)の再就業を促進するための対策が必要。</p>

<p>高齢化社会の進展により看護職員の需要が増加している中、平成18年度に7：1看護体制が始まったことにより、看護職員不足が加速。</p> <p>県内の看護師養成施設が近年相継いで閉鎖し、従前は年間で400人近く養成されていた看護師（准看護師を含む。）は現在では年間300人程度に減少。</p> <p>県内の看護職員養成施設の卒業生のうち、県内就業者は5割程度であり、また、毎年1割程度の看護職員が離職。</p> <p>医療の高度・専門化に対応できる質の高い看護の提供が求められている。</p>	<p>医療の高度・専門化に対応できる質の高い看護職員の育成を図るため、現行教育体制の充実が必要。</p> <p>認定看護師、専門看護師等高度な知識技術を備えた看護職員の育成が必要。</p>
---	--

(4) 保健師

現状	課題
<p>人口10万人当たりの県内の保健師数は全国平均以上。</p> <p>&lt;人口10万人当たりの保健師数(平成18年)&gt; 鳥取県：48人、全国平均：32人</p> <p>少子高齢化、疾病構造の変化、住民ニーズの多様化に対応できる、生活者の立場を重視した保健活動が求められていることから、多岐の分野にわたる保健師の分散配置が行われている。</p> <p>新興・再興感染症や新たな健康課題に対応できる質の高い保健師の育成が求められている。</p>	<p>分散配置により保健師間の連携が希薄となり、保健師の技術の伝承等人材育成が難しくなっている状態。</p> <p>保健・医療・福祉等の関係機関との調整機能を果たし、新たな課題に対応できる質の高い保健師の育成が必要。</p>

(5) 薬剤師

現状	課題
<p>人口10万人当たりの県内の薬剤師数は全国平均以下。</p> <p>特に、薬局従事者は、医薬分業の進展により人口10万人当たりの数は全国平均以上であるが、病院・診療所の勤務者については全国平均以下。</p> <p>&lt;人口10万人当たりの薬剤師数(平成18年)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総数 鳥取県：168人、全国平均：197人</li> <li>・薬局従事者 鳥取県：93人、全国平均：98人</li> <li>・病院、診療所の勤務者 鳥取県：36人、全国平均：38人</li> </ul> <p>鳥取県薬剤師会は認定薬剤師の確保や更新の促進の研修、薬局・病院薬剤師実務実習指導者養成等の研修事業を実施し薬剤師の資質向上を図っている。</p>	<p>医薬分業の進展に伴う、薬剤師不足の解消を図るとともに、薬剤師の資質向上、薬局の機能強化を図ることが必要。</p> <p>地域における保健・医療・福祉に貢献できる薬局、薬剤師の確保が必要。</p>

(6) 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

現状	課題
<p>理学療法士、作業療法士については県内に養成施設が1箇所（理学療法士科及び作業療法士科の1学年の定数は各40人ずつ）あり、言語聴覚士の養成施設は未整備。</p>	<p>地域における介護保険等のリハビリテーションサービスの体制を整備するため、理学療法士等のスタッフの更なる確保と資質の向上が必要。</p>

理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士の県内への就業は年々増加しているが、医療及び介護保険分野のリハビリテーションのスタッフの需要は高く、特に在宅生活を支える介護保険分野への需要は今後ますます高まるものと予想される。

(7) 歯科衛生士・歯科技工士

現状	課題
<p>県内の養成施設は、歯科衛生士は鳥取県立歯科衛生専門学校(定員36名)、歯科技工士は鳥取歯科技工専門学校(定員20名)がある。</p> <p>県内の歯科診療所には、歯科衛生士の不足感がある。</p> <p>歯科衛生士は、在宅医療への対応も期待されている。</p>	<p>歯科衛生士、歯科技工士の安定的な確保が必要。</p> <p>歯科衛生士について、口腔ケア、嚥下訓練など在宅医療への対応できるよう資質の向上を図ることが必要。</p>

(8) 救急救命士

現状	課題
<p>救急救命士は、医師の指示の下に、救急救命処置を行うことを業としており、県内に120名以上いる。</p> <p>気管挿管、薬剤(エピネフリン)投与が可能になるなど、救急救命士が行うことができる処置が近年高度化の傾向。</p>	<p>各種の救急救命処置を行えるようになるためには医療機関での実習が必要だが、経費的、人的に病院に負担になっている場合がある。</p>

(9) その他の保健医療従事者

現状	課題
<p>医療機関でCT、PET等の高度な放射性医療機器の導入が進んでおり、それに対応できる診療放射線技師の確保及びその資質の向上が求められている。</p> <p>臨床検査技師は、医療及び検査技術の高度化への対応が求められている。</p> <p>医療機器の高度化に伴い、生命維持管理装置を扱う臨床工学技士の役割は大きくなっている。</p> <p>生活習慣病の予防のため、栄養士による適切な栄養指導が求められている。</p> <p>精神障害者の自立と社会参加を進める上で、精神保健福祉士の役割が大きくなっている。</p> <p>看護師の確保が難しくなり、また、その業務が多様化、複雑化している中、看護業務補助者が果たす役割が大きくなっている。</p> <p>医療機関同士の連携、在宅医療の推進などにおいて、医療ソーシャルワーカーに求められる役割がますます重要になっている。</p>	<p>保健医療従事者の確保と資質の向上が必要。</p>

(10) 介護サービス従事者

現状	課題
<p>介護保険制度の要である介護支援専門員(ケアマネジャー)の養成やその他の介護サービス従事者の資質向上の取組みが行われている。</p>	<p>高齢化の進行により、保健福祉関連の人材確保と資質の向上が更に必要。</p>

## 2 対策・目標

### (1) 医師

項目	対策・目標
病院（特に自治体立病院）の勤務医の確保	卒業後の県内勤務を返還免除条件とした「鳥取県医師養成確保奨学金」の継続的实施による県内勤務医師の確保 （目標） ・鳥取大学医学部卒業者 10名/年 ・県外大学医学部卒業者 5名/年 自治医大卒医師の県内定着の促進
県外勤務医師の県内就業の促進及び医師の現場復帰の支援	鳥取県医師登録・派遣システム「鳥取県ドクターバンク」の充実 ＜鳥取県ドクターバンクの概要＞ 県内病院での勤務を希望する医師を県職員として採用し、県内の公的病院等に派遣 子育てなどにより現場を離れた医師を対象とした現場復帰のための研修の実施 県内医療機関への就業を希望する医師に対する無料職業紹介 （目標） ・公的病院等への派遣医師を5人体制とすること
鳥取大学医学部卒業生の県内残留の促進及び県外医学部卒の臨床研修医師の確保	県内外の医学生を対象とした、県内の医療機関で現場体験を行う機会を設けた地域医療体験研修の実施 ・医学部生の夏休み等を活用したサマーセミナーの開催 鳥取県臨床研修指定病院協議会（構成団体：鳥取県、鳥取大学、県内臨床研修病院）を通じた研修、指導能力の向上、学生への合同PR等
医師の資質向上	各種専門医の資格取得促進 国の研修機関や全国的な学会などが開催する研修等への参加促進

### (2) 歯科医師

項目	対策・目標
歯科医師の臨床研修の充実	臨床研修終了後の歯科医師の県内定着を促進するための研修プログラムの充実
歯科医師の資質向上	各種専門医の資格取得促進 国の研修機関や全国的な学会などが開催する研修等への参加促進

### (3) 看護職員（看護師・准看護師・助産師）

項目	対策・目標
看護職員の確保	看護職を目指す学生を増やす取組の推進 ・教育委員会と連携しながらの進学指導を通じた中学、高校生等への意識啓発活動の実施 ・看護職に対する理解を深めるための冊子発行、看護師体験、県立看護学校オープンキャンパス等の実施 など 看護学生の卒業後の県内就業の促進 ・看護職員修学資金貸付制度の継続 ・鳥取大学医学部保健学科看護学専攻の地域枠入学者への奨学金の貸付 ・サマーセミナー（看護現場研修）の開催 ・県外の看護職員養成施設の訪問、就職ガイダンスの開催、メールマガジンの配信等による積極的な県内看護情報の提供 など 無料職業紹介、就業相談、再就職支援研修会等による潜在看護師、助産師等の再就業の促進策の実施 看護環境改善のための方策の検討会の開催 院内保育所の設置の推進 県内医療施設の就職試験について、県外在住者を対象とした県外での実施の推進

看護職員の資質の向上	認定看護師、専門看護師等の資格の取得促進 高度医療、医療安全等に関する各種研修会の開催
------------	--

(4) 保健師

項目	対策・目標
保健師間の連携強化及び資質の向上	市町村の求めに応じた広域的、専門的な立場からの技術的な助言と支援体制の充実 現任教育の充実のための研修会の開催

(5) 薬剤師

項目	対策・目標
薬剤師の確保及び資質の向上	鳥取県薬剤師会を中心とした薬学部生の実習受入促進、未就業薬剤師の把握等 鳥取県薬剤師会を中心とした薬剤師の資質向上の教育、研修の充実

(6) 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

項目	対策・目標
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の確保及び資質の向上	県内への就業促進を図るための「理学療法士等修学資金」の貸付けの継続 教育委員会と連携しながらの進学指導を通じた中学、高校生等への意識啓発活動の実施 県内への就業を促進するための相談支援体制の充実 鳥取県理学療法士会、鳥取県作業療法士会、鳥取県言語聴覚士会等による研修の更なる充実

(7) 歯科衛生士・歯科技工士

項目	対策・目標
歯科衛生士、歯科技工士の確保及び資質の向上	歯科衛生士、歯科技工士の県内の就業の促進及び研修等を通じた資質の向上

(8) 救急救命士

項目	対策・目標
救急救命士の資質向上	救急救命士の病院実習が受け入れられやすい環境の整備 ・救急救命士病院実習受入促進事業の活用 など

(9) その他の保健医療従事者

項目	対策・目標
その他の保健医療従事者の確保及び資質の向上	県内定着の促進及び研修等を通じた資質の向上 ( 診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、栄養士、精神保健福祉士、看護業務補助者、医療ソーシャルワーカーなど )

(10) 介護サービス従事者

項目	対策・目標
介護サービス従事者の確保及び資質の向上	保健福祉のサービスを提供するために必要となる訪問介護員などの保健福祉関連の人材確保の推進及び研修等を通じた資質の向上 老人保健福祉に携わる各福祉・保健専門職について、今後の老人保健福祉サービスの整備水準を勘案しながらの人材確保の推進及び研修等を通じた資質の向上

資料

(1) 医師

ア 鳥取県の医師（医療施設の従事者）の状況

(単位：人)

区分	平成14年		平成18年		増減		増加率(%)	
	医師数	人口 10万対	医師数	人口 10万対	医師数	人口 10万対	医師数	人口 対10万
全国	249,574	195.8	263,540	206.3	13,966	10.5	5.6	5.4
鳥取県	1,525	249.2	1,570	259.9	45	10.7	3.0	4.3
東 部	483	193.8	483	196.1	0	2.3	0	1.2
中 部	206	178.1	210	186.9	4	8.8	1.9	4.9
西 部	836	337.8	877	357.5	41	19.7	4.9	5.8

出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」(各年12月31日現在)

イ 鳥取県の医師臨床研修のマッチングの状況

(単位：人)

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
募集定員	70	77	77	70	70
マッチ者数	59	46	32	28	30

出典：鳥取県福祉保健部医療政策課調べ

ウ 鳥取県内の医師の養成施設（平成19年度）

区分	施設数	学年定員(人)
大 学	1	80

出典：鳥取県福祉保健部医療政策課調べ

(2) 歯科医師

ア 鳥取県の歯科医師（医療施設の従事者）の状況

(単位：人)

区分	平成14年		平成18年		増減		増加率(%)	
	歯科 医師数	人口 10万対	歯科 医師数	人口 10万対	歯科 医師数	人口 10万対	歯科 医師数	人口 対10万
全国	90,499	71.0	94,593	74.0	4,094	3.0	4.5	4.2
鳥取県	348	56.9	355	58.8	7	1.9	2.0	3.3
東 部	146	58.6	148	60.1	2	1.5	1.4	2.6
中 部	49	42.4	52	46.3	3	3.9	6.1	9.2
西 部	153	61.8	155	63.2	2	1.4	1.3	2.3

出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」(各年12月31日現在)

イ 鳥取県の歯科医師臨床研修のマッチングの状況

(単位：人)

区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
募集定員	7	7	6
マッチ者数	5	5	6

出典：鳥取県福祉保健部医療政策課調べ

(3) 看護職員(看護師・准看護師・助産師)

ア 鳥取県の看護師・准看護師・助産師の状況

(単位:人)

区分	平成14年		平成18年		増減		増加率(%)		
	就業者数	人口10万対	就業者数	人口10万対	就業者数	人口10万対	就業者数	人口10万対	
看護師	全国	703,913	552.4	811,972	635.5	108,059	83.1	15.4	15.0
	鳥取県	4,368	713.7	4,907	812.4	539	98.7	12.3	13.8
	東部	1,714	687.8	1,899	770.9	185	83.1	10.8	12.1
	中部	694	600.1	803	714.9	109	114.8	15.7	19.1
	西部	1,960	791.9	2,205	898.8	245	106.9	12.5	13.5
准看護師	全国	393,413	308.7	382,149	299.1	11,264	9.6	2.9	3.1
	鳥取県	2,487	406.4	2,460	407.3	27	0.9	1.1	0.2
	東部	977	392.1	970	393.8	7	1.7	0.7	0.4
	中部	577	498.9	579	515.4	2	16.5	0.3	3.3
	西部	933	376.9	911	371.3	22	5.6	2.4	1.5
助産師	全国	24,340	19.1	25,775	20.2	1,435	1.1	5.9	5.8
	鳥取県	164	26.8	168	27.8	4	1.0	2.4	3.7
	東部	67	26.9	60	24.4	7	2.5	10.4	9.3
	中部	24	20.8	30	26.7	6	5.9	25.0	28.4
	西部	73	29.5	78	31.8	5	2.3	6.8	7.8

出典:厚生労働省「衛生行政報告例」(各年12月31日現在)

イ 鳥取県の有効求人倍率状況

(ア) 全職種

区分	平成19年1月	平成19年6月	平成19年12月
有効求人(人) A	9,779	9,649	9,140
有効求職(人) B	12,056	14,356	11,414
有効求人倍率 A/B	0.81	0.67	0.80
余剰労働力 B-A	2,277	4,707	2,274

(イ) 看護師(准看護師を含む。)

区分	平成19年1月	平成19年8月	平成19年12月
有効求人(人) A	508	453	484
有効求職(人) B	161	202	170
有効求人倍率 A/B	3.16	2.24	2.85
余剰労働力 B-A	347	251	314

(ウ) 助産師

区分	平成19年1月	平成19年8月	平成19年12月
有効求人(人) A	22	21	21
有効求職(人) B	1	3	3
有効求人倍率 A/B	22.0	7.00	7.00
余剰労働力 B-A	21	18	18

出典:財団法人雇用情報センター「労働市場調べ」ホームページより。

ウ 鳥取県の看護師・准看護師・助産師の就業状況(平成18年12月31日現在)

(単位:人)

区分	病院	診療所	助産所	訪問看護ステーション	介護保健施設等	社会福祉施設	その他	合計
看護師	3,714	515	0	127	348	49	154	4,907
准看護師	986	884	0	25	457	65	43	2,460
助産師	89	54	15	0	0	0	10	168

出典:厚生労働省「衛生行政報告例」

エ 鳥取県内の看護師及び准看護師の養成施設の状況（平成19年度）

区 分		施設数	学年定員(人)
看護師	大学	1	80
	専門学校	3	115
	高等学校	1	40
准看護師	専修学校	3	105
計		8	340

出典：鳥取県福祉保健部医療政策課調べ

助産師は、大学（1箇所）と専門学校（1箇所）とで年間20名程度養成

(4) 保健師

ア 鳥取県の保健師の状況

(単位：人)

区 分		平成14年		平成18年		増 減		増加率(%)	
		就業 者数	人口 10万対	就業 者数	人口 10万対	就業 者数	人口 10万対	就業 者数	人口 10万対
保健師	全 国	38,366	30.1	40,191	31.5	1,825	1.4	4.8	4.7
	鳥取県	281	45.9	288	47.7	7	1.8	2.5	3.9
	東 部	128	51.4	128	52.0	0	0.6	0	1.2
	中 部	62	53.6	59	52.5	3	1.1	4.8	2.1
	西 部	91	36.8	101	41.2	10	4.4	11.0	12.0

出典：厚生労働省「衛生行政報告例」(各年12月31日現在)

イ 鳥取県の保健師の就業状況（平成18年12月31日現在）

(単位：人)

区 分	病 院	診 療 所	助 産 所	訪 問 護 士 ステーション	保 健 所	市 町 村	そ の 他	合 計
保 健 師	5	7	0	0	43	166	67	288

出典：厚生労働省「衛生行政報告例」

(5) 薬剤師

ア 鳥取県の薬剤師の状況

(単位：人)

区 分		平成14年		平成18年		増 減		増加率(%)	
		薬剤 師数	人口 10万対	薬剤 師数	人口 10万対	薬剤 師数	人口 10万対	薬剤 師数	人口 10万対
県内の 薬剤師 数	全 国	229,744	180.3	252,533	197.6	22,789	17.3	9.9	9.6
	鳥取県	954	155.9	1,016	168.2	62	12.3	6.5	7.9
	東 部	373	149.7	379	153.9	6	4.2	1.6	2.8
	中 部	168	145.3	166	147.8	2	2.5	1.2	1.7
	西 部	413	166.9	471	192.0	58	25.1	14.0	15.0
うち薬 局の従 事者	全 国	106,892	83.9	125,254	98.0	18,362	14.1	17.2	16.8
	鳥取県	519	84.8	562	93.0	43	8.2	8.3	9.7
	東 部	212	85.1	221	89.7	9	4.6	4.2	5.4
	中 部	108	93.4	107	95.3	1	1.9	0.9	2.0
	西 部	199	80.4	234	95.4	35	15.0	17.6	18.7
うち病 院・診 療所の 従事者	全 国	47,536	37.3	48,964	38.3	1,428	1.0	3.0	2.7
	鳥取県	214	35.0	220	36.4	6	1.4	2.8	4.0
	東 部	87	34.9	84	34.1	3	0.8	3.4	2.3
	中 部	37	32.0	39	34.7	2	2.7	5.4	8.4
	西 部	90	36.4	97	39.5	7	3.1	7.8	8.5

出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」(各年12月31日現在)

(6) 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

ア 鳥取県の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の状況

(単位：人)

区分		平成14年(注)		平成19年		増減		増加率(%)	
		就業者数	人口10万対	就業者数	人口10万対	就業者数	人口10万対	就業者数	人口10万対
理学療法士	鳥取県	169	27.6	314	52.0	145	24.4	85.8	88.4
	東部	37	14.8	73	29.6	36	14.8	97.3	100.0
	中部	36	31.1	66	58.8	30	27.7	83.3	89.1
	西部	96	38.8	175	71.3	79	32.5	82.3	83.8
作業療法士	鳥取県	91	14.8	215	35.6	124	20.8	136.3	140.5
	東部	25	10.0	62	25.2	37	15.2	148.0	152.0
	中部	14	12.1	24	21.4	10	9.3	71.4	76.9
	西部	52	21.0	129	52.6	77	31.6	148.1	150.5
言語聴覚士	鳥取県	41	6.7	77	12.7	36	6.0	87.8	89.6
	東部	9	3.6	12	4.9	3	1.3	33.3	36.1
	中部	6	5.2	14	12.5	8	7.3	133.3	140.4
	西部	26	10.5	51	20.8	25	10.3	96.2	98.1

出典：平成19年分は鳥取県福祉保健部長寿社会課調べ(平成19年6月1日現在)；平成14年分は次のとおり。

- ・理学療法士...社団法人日本理学療法士協会鳥取県士会調べ(3月末現在)
- ・作業療法士...鳥取県作業療法士会調べ(3月末現在)
- ・言語聴覚士...鳥取県福祉保健部調べ(注)；平成15年1月末現在)

イ 鳥取県の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の就業状況(平成19年6月1日現在)

(単位：人)

区分	老人保健施設	病院	その他	合計			
					東部圏域	中部圏域	西部圏域
理学療法士	49	238	27	314	73	66	175
作業療法士	52	139	24	215	62	24	129
言語聴覚士	15	57	5	77	12	14	51
合計	116	434	56	606	147	104	355

出典：鳥取県福祉保健部長寿社会課調べ

(7) 歯科衛生士・歯科技工士

ア 鳥取県の歯科衛生士・歯科技工士の状況

(単位：人)

区分		平成14年		平成18年		増減		増加率(%)	
		就業者数	人口10万対	就業者数	人口10万対	就業者数	人口10万対	就業者数	人口10万対
歯科衛生士	全国	73,297	57.5	86,939	68.0	13,642	10.5	18.6	18.3
	鳥取県	654	106.9	687	113.7	33	6.8	5.0	6.4
歯科技工士	全国	36,765	28.9	35,147	27.5	1,618	1.4	4.4	4.8
	鳥取県	301	49.2	299	49.5	2	0.3	0.7	0.6

出典：厚生労働省「衛生行政報告例」(各年12月31日現在)

イ 鳥取県の歯科衛生士の就業状況(平成18年12月31日現在)

(単位：人)

区分	病院	診療所	介護老人保健施設	保健所	市町村	その他	合計
歯科衛生士	22	624	6	3	2	30	687

出典：厚生労働省「衛生行政報告例」

(8) 救急救命士の状況(再掲)  
 < 鳥取県内の救急救命士等の状況 >

(単位:人)

区 分	人 数	Aに占める割合
救急救命士数 A	121	-
気管挿管のみの認定者数 B	47	38.8%
うち運用者数	47	
薬剤投与のみの認定者数 C	17	14.0%
うち運用者数	17	
気管挿管・薬剤投与両方の認定者数 D	37	30.6%
うち運用者数	36	
気管挿管、薬剤投与両方あるいはのいずれかの認定者総数 B + C + D	101	83.5%

出典:鳥取県防災局消防課調べ(平成20年2月29日現在)

(9) 県内医療機関のその他の医療従事者数(常勤換算後)

(単位:人)

区 分	平成14年		平成17年		増 減		増加率(%)	
	病 院	診 療 所	病 院	診 療 所	病 院	診 療 所	病 院	診 療 所
診療放射線技師	155.0	19.9	164.5	33.1	9.5	13.2	6.1	66.3
臨床検査技師	239.6	71.7	230.0	86.6	9.6	14.9	4.0	20.8
臨床工学技士	17.0	8.0	18.0	14.0	1.0	6.0	5.9	75.0
管理栄養士	64.8	-	63.8	-	1.0	-	1.5	-
栄養士	28.0	56.5	28.3	47.0	0.3	9.5	1.1	16.8
看護業務補助者	856.4	91.1	834.2	127.8	22.2	36.7	2.6	40.3
精神保健福祉士	12.0	2.0	29.0	3.7	17.0	1.7	141.7	85.0

出典:「病院」については厚生労働省「病院報告」(各年10月1日現在)

:「診療所」については厚生労働省「医療施設調査」(各年10月1日現在)